

東京工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	国語総合V	
科目基礎情報						
科目番号	0085		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	情報工学科		対象学年	3		
開設期	前期		週時間数	2		
教科書/教材	『現代文B 改訂版 上 下』(大修館書店) / 『日本語チェック2000辞典』(京都書房)					
担当教員	船戸 美智子					
到達目標						
1. 評論の論旨を的確に捉え、指定された字数内で要約文を作成することができる。 2. 自己の意見について、根拠を示しながら他者に対して分かりやすく伝えることができる。						
ループリック						
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安(可)	未到達レベルの目安		
評価項目1	論旨を的確にとらえたうえで、全文を要約できる。	論旨を大体においてとらえ、全文を要約できる。	論旨を大体においてとらえることができる。	論旨をとらえることができず、全文の要約もできない。		
評価項目2	根拠を明確に示しながら、自己の意見をわかりやすく発表できる。	根拠を示しながら、自己の意見をわかりやすく発表できる。	おおよその根拠を示しながら、自己の意見を発表できる。	自己の意見を発表することができない。		
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	1年次に始まった国語学習の総まとめとして、前半はやや難解な評論等の読解と要約を、後半はインターンシップや卒業研究の発表とに資することを目的として、プレゼンテーションをおこなう。なお、この授業の「読解と要約」とは「他者の考えや思考の過程を整理する営み」であり、「プレゼンテーション」とは「自己の考え・思考の過程を分かりやすく他者に提示する」営みである。両能力を着実に伸ばしてほしい。					
授業の進め方・方法	前半は主として教科書を用いて講義形式で、後半は演習形式で要約をまとめたり、一人一人のプレゼンテーションを行ったりしながら進めていく。また折に触れてさまざまな課題に取り組んでもらう。					
注意点	<ul style="list-style-type: none"> この授業では、たとえばプレゼンテーション時などに自学自習の成果が求められることになる。したがって、自学自習の習慣を身につける必要がある。 プレゼンテーションに際しての不明点は必ず担当教員に質問すること。また、語彙テストを実施する。プレゼンテーションとともに、事前準備を入念におこなうこと。 					
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス 評論の読解 1-1	授業の進め方と成績評価の方法を理解する。		
		2週	評論の読解 1-2	文章の論理展開を理解し、例示によって何を述べようとしているかを捉えることができる。		
		3週	プレゼンテーション 1	よりよく伝えるためのプレゼンテーションの方法を理解することができる。		
		4週	プレゼンテーション 2	他者のプレゼンを聴いて、わかりやすい話し方とは何かを理解することができる。		
		5週	プレゼンテーション 3	他者のプレゼンを聴きながら、資料の効果的な使い方を理解することができる。		
		6週	プレゼンテーション 4	他者のプレゼンを聴いて、的確な論証のしかたを理解することができる。		
		7週	プレゼンテーション 5	自分の主張を伝えるために効果的なプレゼンを準備することができる。		
		8週	前期中間試験	これまで学んだことをふまえて、設問に正確に答えることができる。		
	2ndQ	9週	試験返却 解説 プレゼンテーション 6	自己の意見を的確に伝え、また、他者の意見を適正に評価することができる。		
		10週	プレゼンテーション まとめ	プレゼンについてふりかえり、レポートを作成することができる。		
		11週	評論の読解 2-1	評論の論理展開を理解することができる。		
		12週	評論の読解 2-2 要約	トピックセンテンスを捉え、要約をまとめることができる。		
		13週	評論の読解 3-1	キーワードをふまえて文章展開を整理できる。		
		14週	評論の読解 3-2	筆者の主張を適切に捉え、自分の意見をまとめることができる。		
		15週	前期末試験	これまで学んだことをふまえて、設問に正確に答えることができる。		
		16週	前期末試験 返却・解説	今後に向けて、自己表現の目標と課題をまとめる。		
モデルコアカリキュラムの学習内容及到達目標						
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	3	
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べるができる。	3	
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	3	
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	3	

			社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	3	
			専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	3	
			報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	3	
			収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	3	
			報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	3	
			作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。	3	
			課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	3	
			相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	3	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度・取り組み	ポートフォリオ	小テスト	合計
総合評価割合	50	30	0	0	0	20	100
基礎的能力	50	30	0	0	0	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0